



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室 IRチームリーダー (氏名) 後藤 美沙 (TEL) 03-6711-8120

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	152,383	9.4	14,041	7.7	14,573	18.1	9,360	△2.7
2026年3月期第1四半期	139,270	△4.3	13,043	△25.3	12,343	△32.1	9,620	△40.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 20,623百万円(85.3%) 2026年3月期第1四半期 11,130百万円(△67.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	36.65	—
2026年3月期第1四半期	36.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	865,289	383,341	42.5	1,440.38
2026年3月期	833,929	370,380	42.6	1,392.36

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 367,863百万円 2026年3月期 355,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	288,000	3.9	16,500	△18.0	17,000	△16.6	10,000	△46.8
通期	595,000	2.7	42,500	1.0	43,000	△4.7	32,000	214.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	256,142,682株	2026年3月期	266,942,682株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	749,322株	2026年3月期	11,548,859株
------------	----------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	255,393,451株	2026年3月期1Q	265,126,779株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は
監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、地域ごとに景況感の差がみられる中、中東情勢の不安定化によるエネルギーの供給制約や価格高騰、サプライチェーンの混乱など、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、原材料の安定調達や代替品の探索を進め、製品の安定供給に努めるとともに、原材料調達および輸送コスト等の高騰については、適切に販売価格への転嫁を実施することで、業績への影響の最小化を図っております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,523億83百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は140億41百万円(同7.7%増)、経常利益は145億73百万円(同18.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は93億60百万円(同2.7%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を変更しております。

エンジニアリングプラスチック事業セグメントをハイパフォーマンスポリマーズ事業セグメントに改称するとともに、ダイセルミライズ株式会社の事業をマテリアル事業セグメントへ移管しました。また、メディカル・ヘルスケア事業セグメントをライフサイエンス事業セグメントに改称し、コスメ事業をマテリアルセグメントへ移管、その他セグメントのメンブレン事業をライフサイエンス事業セグメントへ移管しております。

前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えております。

[ハイパフォーマンスポリマーズ事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのハイパフォーマンスポリマーズ事業は、前年同期に米国の関税や中国におけるアンチダンピング課税の影響により減少していたポリアセタール樹脂の販売数量の増加や、AIサーバー向けなどの需要増加による液晶ポリマーの販売数量の増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、642億24百万円(前年同期比23.9%増)、販売数量の増加などにより、営業利益は、81億1百万円(同20.9%増)となりました。

[マテリアル事業]

アセチル事業のアセテート・トウは、中東情勢悪化に伴う輸送停止や一部顧客向け出荷時期の後ろ倒しの影響などにより販売数量が減少し、減収となりました。

酢酸セルロースは、ディスプレイ材料用途がほぼ横這いで推移したものの、繊維用途やプラスチック用途の需要減少などにより、減収となりました。

ケミカル事業の酢酸は、中東情勢悪化の影響による原料価格高騰の販売価格への転嫁を進めたものの、主要用途である酢酸ビニルの減産や、採算性の低い輸出数量を減少させたことなどにより、減収となりました。

その他のケミカル製品は、中東情勢悪化の影響による原料調達懸念を受け一部製品で出荷調整を行ったものの、原料価格高騰の販売価格への転嫁を進めたことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、457億17百万円(前年同期比6.2%減)、為替の影響などにより、営業利益は、42億45百万円(同2.1%増)となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)などのセイフティ事業は、中国市場での自動車需要減少の影響を受けたものの、インドなど他の市場での拡販により販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、264億85百万円(前年同期比8.2%増)、販売構成差や経費計上時期の前年同期とのずれなどにより、営業利益は、3億8百万円(同80.8%減)となりました。

[スマート事業]

半導体材料事業は、前年同期との販売時期のずれによりレジスト材料の販売が減少したものの、堅調な半導体需要により電子材料向け溶剤の販売が増加し、増収となりました。

高機能材料事業は、中東情勢悪化の影響による原料調達懸念を受けカプロラクトン誘導体、エポキシ化合物の

出荷調整を行ったものの、原料価格高騰の販売価格への転嫁を進めたことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、106億25百万円(前年同期比12.4%増)、電子材料向け溶剤の販売数量の増加などにより、営業利益は、6億72百万円(同215.5%増)となりました。

[ライフサイエンス事業]

ライフサイエンス事業は、キラルカラムの販売数量の増加や、機能性食品素材の販売数量の増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、49億35百万円(前年同期比15.8%増)、販売数量の増加などにより、営業利益は、4億99百万円(同138.8%増)となりました。

[その他]

その他部門の売上高は、3億95百万円(前年同期比20.0%減)、営業利益は、2億14百万円(同38.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、棚卸資産等の増加により、前連結会計年度末に比し313億60百万円増加し、8,652億89百万円となりました。

負債は、短期社債等の増加により、前連結会計年度末に比し183億98百万円増加し、4,819億48百万円となりました。

また純資産は、3,833億41百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,678億63百万円となり自己資本比率は42.5%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,811	73,032
受取手形及び売掛金	117,308	113,882
棚卸資産	174,515	186,986
その他	42,578	46,626
貸倒引当金	△48	△192
流動資産合計	403,166	420,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	102,937	103,575
機械装置及び運搬具（純額）	133,612	131,338
土地	31,116	31,290
建設仮勘定	59,895	66,050
その他（純額）	6,800	6,942
有形固定資産合計	334,363	339,197
無形固定資産		
のれん	52	48
その他	11,030	10,740
無形固定資産合計	11,082	10,788
投資その他の資産		
投資有価証券	45,453	54,682
繰延税金資産	4,970	5,249
退職給付に係る資産	18,298	18,376
その他	16,617	16,677
貸倒引当金	△22	△19
投資その他の資産合計	85,317	94,966
固定資産合計	430,763	444,953
資産合計	833,929	865,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,445	70,440
短期借入金	50,099	41,569
短期社債	—	14,000
1年内返済予定の長期借入金	14,168	14,255
未払法人税等	4,176	3,235
修繕引当金	573	1,966
その他	68,119	65,469
流動負債合計	197,583	210,936
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	169,984	170,949
繰延税金負債	12,467	16,974
修繕引当金	1,305	628
退職給付に係る負債	2,606	2,779
資産除去債務	1,222	1,232
その他	8,380	8,447
固定負債合計	265,965	271,011
負債合計	463,549	481,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	0	0
利益剰余金	234,253	221,245
自己株式	△15,727	△1,020
株主資本合計	254,802	256,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,823	29,015
繰延ヘッジ損益	△8	△7
為替換算調整勘定	69,414	74,086
退職給付に係る調整累計額	8,567	8,266
その他の包括利益累計額合計	100,796	111,361
非支配株主持分	14,780	15,478
純資産合計	370,380	383,341
負債純資産合計	833,929	865,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	139,270	152,383
売上原価	99,307	110,558
売上総利益	39,962	41,824
販売費及び一般管理費	26,919	27,782
営業利益	13,043	14,041
営業外収益		
受取利息	197	109
受取配当金	487	341
持分法による投資利益	798	878
その他	876	759
営業外収益合計	2,359	2,089
営業外費用		
支払利息	766	882
為替差損	1,747	208
社債発行費	0	0
その他	545	467
営業外費用合計	3,059	1,558
経常利益	12,343	14,573
特別利益		
固定資産処分益	3	3
投資有価証券売却益	—	148
負ののれん発生益	512	—
補助金収入	1,224	—
特別利益合計	1,741	151
特別損失		
固定資産除却損	345	266
段階取得に係る差損	179	—
特別損失合計	524	266
税金等調整前四半期純利益	13,560	14,457
法人税、住民税及び事業税	5,393	3,363
法人税等調整額	△1,755	1,546
法人税等合計	3,638	4,909
四半期純利益	9,922	9,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	301	187
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,620	9,360

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	9,922	9,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,981	6,192
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	△1,408	4,837
退職給付に係る調整額	△158	△302
持分法適用会社に対する持分相当額	△208	346
その他の包括利益合計	1,208	11,075
四半期包括利益	11,130	20,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,637	19,925
非支配株主に係る四半期包括利益	493	697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	ハイパフォー マンスポ リマーズ	マテリアル	セイフティ	スマート	ライフサイ エンス					
売上高										
外部顧客への 売上高	51,835	48,756	24,470	9,450	4,263	138,776	494	139,270	—	139,270
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	0	2,717	—	33	3	2,754	3,625	6,380	△6,380	—
計	51,835	51,473	24,470	9,483	4,267	141,530	4,120	145,650	△6,380	139,270
セグメント利益	6,698	4,157	1,608	213	209	12,887	155	13,043	—	13,043

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	ハイパフォー マンスポ リマーズ	マテリアル	セイフティ	スマート	ライフサイ エンス					
売上高										
外部顧客への 売上高	64,224	45,717	26,485	10,625	4,935	151,987	395	152,383	—	152,383
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	9	4,570	—	155	10	4,745	3,794	8,540	△8,540	—
計	64,234	50,287	26,485	10,780	4,945	156,733	4,190	160,923	△8,540	152,383
セグメント利益	8,101	4,245	308	672	499	13,827	214	14,041	—	14,041

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。

従来の「メディカル・ヘルスケア事業」を「ライフサイエンス事業」、従来の「エンジニアリングプラスチック事業」を「ハイパフォーマンスポリマーズ事業」に名称変更するとともに、従来の「メディカル・ヘルスケア事業」、「エンジニアリングプラスチック事業」および「その他」に含まれていた一部の事業を、それぞれ「マテリアル事業」および「ライフサイエンス事業」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	9,781百万円	10,704百万円
のれんの償却額	4百万円	4百万円